社会保障

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

社会保障はどんなしくみで、どんな課題をかかえているのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 社会保障制度

四つの柱

2 国民の生活を支え、保障する制度。

3 保険料を出し合い、病気や老後などにそなえる制度。

4 生活に困る人に生活費などを支給する制度。

日本国憲法第25条は、すべての国民に「健康で文化的な最低限度の生活」を営む権利（1 **生存権**）を保障している。この権利を実現するため、国は 2 **社会保障** の制度を整えている。社会保障は、病気やけが、失業などの思いがけない困りごとから人々の暮らしを守るしくみで、次の四つの柱からなる。

病気・失業・老後などにそなえ、人々が保険料を出し合う 3 **社会保険** には、医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険・労災保険がある。生活に困る人に生活費などを支給する 4 **公的扶助** の代表は生活保護である。高齢者・障がいのある人・子どもなどを支える 5 **社会福祉**、感染症の予防や上下水道の整備などを行う 6 **公衆衛生** もある。

柱	内容
3 **社会保険**	医療・年金・介護・雇用・労災
4 **公的扶助**	生活保護など
5 **社会福祉**・6 **公衆衛生**	福祉サービス・感染症の予防など

2 社会保障の課題

少子高齢化

7 子どもが減り、高齢者の割合が高まること。

8 老後などの生活を支える、定期的なお金の給付。

11 介護が必要な人を社会全体で支える制度。

日本では 7 **少子高齢化** が進み、8 **年金** や医療、介護にかかる費用が増え続けている。その一方で、保険料や税を負担する 9 **現役世代** は減っている。公的年金は、現役世代が納める保険料で、そのときの高齢者の年金をまかなうしくみ（10 **賦課方式**）が中心であるため、世代間の負担の公平が課題となる。

40歳以上が加入する 11 **介護保険** は、介護が必要な高齢者を社会全体で支えるために2000年に始まった。負担と給付のバランスをどうとるか、「高い負担で手厚い給付」か「低い負担で最低限の給付」かは、私たち一人ひとりが考えるべき課題である。財源の確保や、働く世代・高齢者がともに支え合える制度づくりが求められる。

できた ＿＿＿ / 11

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。